

新たな始まり

親鸞聖人750回大遠忌

Vol.22

宗門長期振興計画の現状

教学シンポジウム

本願寺教学伝道研究所では、宗門長期振興計画の重点項目⑤「時代に即応する教学の振興」にかかる企画の一つとして教学シンポジウムを開催しています。このシンポジウムは「現代にいきる親鸞聖人」をコンセプトに掲げ、二〇〇六（平成十八）年から二〇一（平成二十三）年までの計六回、総合テーマを「親鸞聖人の世界」として開催しています。

1

宗門長期振興計画における

「教学シンポジウム」

二〇〇六（平成十八）年から大遠忌法要が勤修される二〇一（平成二十三）年までの六年間を通して開催される「教学シンポジウム」は、いままでにはない、まさに長期振興計画ならではの企画です。

このシンポジウムは、親鸞聖人が明らか

かにされた浄土真宗のみ教えが、現代に生きる私たちにとっていかなる意味を持つのかを明らかにすることが目的です。総合テーマ「親鸞聖人の世界」のもと、浄土真宗のみ教えをさまざまな角度からうかがおうと、各回ごとに次のようなテーマを設定しています。

- 第一回 史実と伝承の聖人像
- 第二回 念仏の源流
- 第三回 浄土

親鸞聖人750回大遠忌 宗門長期振興計画

【基本的な考え方（コンセプト）】

- 『新たな始まり』
～明日の宗門の基盤作り～

【目標】

- 親鸞聖人750回大遠忌法要の修行
- 現代社会に伝える教学・伝道態勢の構築とみ教えに生きる「人」の育成

【重点項目】

- ①法要の修行
- ②記念行事等の推進
- ③協賛行事
- ④伝道態勢の整備

⑤時代に即応する教学の振興

- ⑥新たな門徒の誕生（教線の拡充）
- ⑦国際伝道の推進
- ⑧寺院の活性化対策
- ⑨過疎・過密対策
- ⑩地域社会との交流
- ⑪現代社会への貢献
- ⑫人材育成の新規対策
- ⑬既存の人材育成施策の強化
- ⑭宗務機能の点検と拡充
- ⑮境内地等の整備

- 第四回 真宗の土徳^{どとく}と地域に薫^{かほ}る念仏
- 第五回 現代における浄土真宗（仮）
- 第六回 世界に広がる浄土真宗（仮）

2

いままでに開催された

シンポジウム

また、先生方の白熱した議論を、臨場感そのままに読み返すことのできる講演録も随時刊行しております。

二〇〇六（平成十八）年から始まった「教学シンポジウム」は、大遠忌を迎えるに当たって、まず第一回では、宗祖の生涯に焦点を絞り、第二回では、浄土真宗のみ教えの中心である「念仏」に焦点を絞って開催いたしました。

昨年開催した第三回では、浄土真宗のみ教えの根幹となる「浄土」を取り上げ、その世界観をさぐりました。仏教における仏国土^{ぶつこくど}とその世界観、天文学の宇宙観、哲学的視点からみた世界観、そして真宗における浄土など、さまざまな角度から「浄土」をうかがいました。

親鸞聖人750回大遠忌 宗門長期振興計画

【基本的な考え方（コンセプト）】

- 『新たな始まり』
～明日の宗門の基盤作り～

【目標】

- 親鸞聖人750回大遠忌法要の修行
- 現代社会に答える教学・伝道態勢の構築とみ教えに生きる「人」の育成

【重点項目】

- ①法要の修行
- ②記念行事等の推進
- ③協賛行事
- ④伝道態勢の整備

⑤時代に即応する教学の振興

- ⑥新たな門徒の誕生（教線の拡充）
- ⑦国際伝道の推進
- ⑧寺院の活性化対策
- ⑨過疎・過密対策
- ⑩地域社会との交流
- ⑪現代社会への貢献
- ⑫人材育成の新規対策
- ⑬既存の人材育成施策の強化
- ⑭宗務機能の点検と拡充
- ⑮境内地等の整備

- 第四回 真宗の土徳^{どとく}と地域に薫^{かほ}る念仏
- 第五回 現代における浄土真宗（仮）
- 第六回 世界に広がる浄土真宗（仮）

2

いままでに開催された

シンポジウム

また、先生方の白熱した議論を、臨場感そのままに読み返すことのできる講演録も随時刊行しております。

二〇〇六（平成十八）年から始まった「教学シンポジウム」は、大遠忌を迎えるに当たって、まず第一回では、宗祖の生涯に焦点を絞り、第二回では、浄土真宗のみ教えの中心である「念仏」に焦点を絞って開催いたしました。

昨年開催した第三回では、浄土真宗のみ教えの根幹となる「浄土」を取り上げ、その世界観をさぐりました。仏教における仏国土^{ぶつこくど}とその世界観、天文学の宇宙観、哲学的視点からみた世界観、そして真宗における浄土など、さまざまな角度から「浄土」をうかがいました。



第3回 教学シンポジウムの様子

3 今年のシンポジウム

今年の教学シンポジウムは、浄土真宗の文化や習俗などに焦点をあて、「真宗の土徳／地域に薫る念仏」というテーマで、十二月十五日（火）に聞法会館で開催いたします。

親鸞聖人がご往生されてから七百五十

年、真宗は人々の生活とともにありました。それは、真宗のみ教えが伝統や習慣として人々の生活に根付き、さまざまな地域とともに歩んできた歴史ともいえるでしょう。そこで、本願寺周辺地域や各地域に根づく伝統や習慣をみなおし、真宗文化の特色と今後の展望を探っていきます。

今年も、例年と異なり基調講演を置かず、真宗文化の特色について、さまざま

な立場の先生方に発表していただきます。

第Ⅰ部では、本願寺とともに歩んできた門前町の特色を取り上げ、本願寺の周辺地域の文化について考えます。

第Ⅱ部では、平成二十一年四月に修復された御影堂を取り上げ、御影堂修復作業の様子をNHKの映像からうかがい、御影堂のささえるものとは何かについて考えます。

2009年度 教学シンポジウム

真宗の土徳

～地域に薫る念仏～

開催日：2009（平成21）年12月15日（火）

13:00～16:30

場所：本願寺聞法会館3階多目的ホール

第Ⅰ部「門前町の真宗文化」

井口 富夫（龍谷大学教授）

宇佐美直秀（開明社理事長）

第Ⅱ部「御影堂をささえるもの」

菅原 健一

（NHKエンタープライズディレクター）

第Ⅲ部「各地域の真宗文化」

蒲池 勢至（同朋大学講師）

引野 亨輔（福山大学准教授）

〈コーディネーター〉

清基 秀紀（京都女子大学講師）

第三部では、各地域の真宗文化を取り上げ、各地に真宗の文化がどのように根付き、どう受け継がれたのかをうかがっていきます。

日ごろの何気ない行い、また各地域に脈々と続く伝統や習慣といったものが、実は真宗のみ教えと深く関わっていることを再発見できるかもしれません。

このシンポジウムにお越しいただければ、皆さまの身近にある真宗文化を再確認することもできるでしょう。

今年のシンポジウムを楽しみにしていただければと存じます。

4 今後のシンポジウム

次年度以降も総合テーマ「親鸞聖人の世界」のもと、各回のテーマに沿って、次のように企画していきます。

第五回では、浄土真宗の「いま」について考えます。

第六回では、世界に広がる浄土真宗について考えます。



教学シンポジウム記録・親鸞聖人の世界(第2回)教学伝道研究センターブックレット

それぞれのシンポジウムは、講演録を「教学伝道研究センターブックレット」として随時刊行していきます。総合テーマ「親鸞聖人の世界」のもと開催されたシンポジウム全六回を通して、宗祖が明らかにされた浄土真宗を、あらためてうかがうことができます。

講演録も刊行されますが、実際に来場されて初めて実感できることもあり、何より各分野の専門家から、生なまで聞かせていただけることは、大きな意味があるでしょう。

皆さまのご参加をお待ちしております。

5 さいごに

宗祖が示された、阿弥陀如来の救いを、現代に生きる私が明らかに聞かせていただくことが、浄土真宗の念仏者として何よりも大切なことは言うまでもありません。

また、それによってこそ、私のあり方があらためて気付かされるのです。

「教学シンポジウム」は、そのことを確認できる重要な企画です。

どうぞご期待ください。

(教学伝道研究センター・本願寺教学伝道研究所)